



Kinshu

아침의 환희

2017年度 後期企画展

# 「異国の窓」から ～ 世界を旅する ことばの葉たち ～

2017 10.20 金

授業期

[開館時間] 9:20-19:50(日～金)  
[休館日] 土曜・日曜・祝日、  
11/6(日)、11/16(木)、11/17(金)、11/28(火)  
※11/3(金)～11/5(日)、11/23(木)は開館します。

▶▶ 2018 3.20 火

学休期

[開館時間] 9:20-18:00(日～金)  
[休館日] 土曜・日曜・祝日、  
12/26(火)～1/4(木)  
2/1(木)～3/20(火)

※詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。

主催：追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム  
後援：茨木市、茨木市教育委員会、茨木商工会議所、茨木市観光協会



# 異国の窓から

世界を旅する言の葉たち

宮本輝の小説は、日本国内のみならず、多くの言語に翻訳されて、海外の人々にも読まれています。例えば「錦繡」。英語、中国語（簡体字、繁体字）はもちろん、フランス語、ロシア語、韓国語、スペイン語から、ルーマニア語、ヘブライ語、ヴェトナム語にまで訳されています。なぜこれほど多くの国の人々を惹きつけるのでしょうか。

作品の舞台となった国の人々が、自らの住む場所の魅力について再認識するに至ったこともその要因の一つでしょう。作品には、アジアやヨーロッパ各国、アメリカ合衆国などの、さほど有名でない街や地域まで登場します。

しかし、やはり世界中の人々に共通する魅力の存在が想定されます。それは、宮本輝文学における温かな魂の交感によるストーリー展開です。

人と人が偶然出会うところから、あらゆる物語は動き始めます。これはどの国でも同じです。時に切なく、時に哀しく、また時に感動的な人間模様を描く宮本輝の文学は、人間を中心とする物語の王道を行くといえます。

さらにそれらの物語の多くにおいて、作中人物たちが人種や国境を越えて交流します。読者はそのためよけに、劇的な人間関係の魅力を再認識します。

まずはここで、宮本輝文学に描かれる世界の国々に、仮想旅行を試みてください。そして、ぜひ旅行や留学という形で、訪問を実現してください。この企画展が、そのきっかけとなればと思います。

宮本輝ミュージアムプログラムディレクター

真銅 正宏

## 展示内容

- ◆ 海外を舞台にした作品の紹介
- ◆ 海外で翻訳された本・作品の紹介
- ◆ 作品舞台マップ 世界編
- ◆ 各国への人気投票コーナー

## 海外を舞台にした作品（二部）

- ◆ ドナウの旅人  
(1985年、朝日新聞社)
- ◆ ここに地終わり海始まる  
(1991年、講談社)
- ◆ 草原の椅子  
(1999年、毎日新聞社)
- ◆ 草花たちの静かな誓い  
(2016年、集英社)

## 世界中で翻訳されている作品（二部）

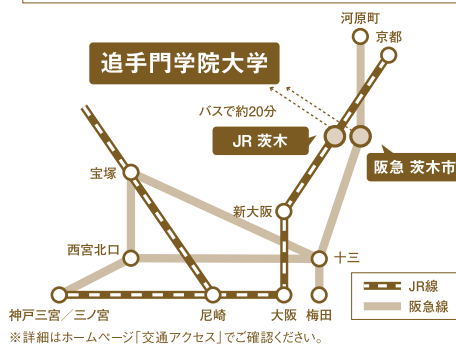
- ◆ 泥の河・螢川  
(螢川) 1978年、筑摩書房
- ◆ 幻の光  
(1979年、新潮社)
- ◆ 錦繡  
(1982年、新潮社)
- ◆ 夢見通りの人々  
(1986年、新潮社)

## 宮本輝ミュージアムについて

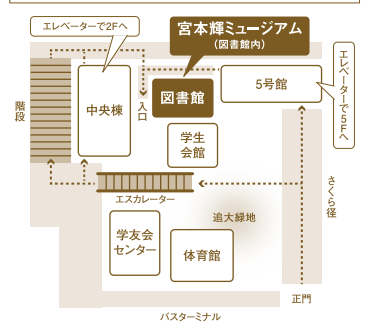
宮本輝ミュージアムは、追手門学院大学第1期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物などさまざまな角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



## アクセス(路線図)



## キャンパスマップ



## 宮本輝ミュージアム (追手門学院大学附属図書館 内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 [開館時間] 図書館開館時間に準ずる。

TEL: 072-641-9638 FAX: 072-643-9786

※詳しくはホームページでご確認ください。

URL: (附属図書館) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/>

(宮本輝ミュージアム) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/teru/index.html>



おうてもん  
追手門学院大学

URL: <http://www.otemon.ac.jp/>